

当院で胎盤遺残（RPOC）の診断・治療を受けられた患者さんへ
診療情報を用いた臨床研究へのご協力をお願い

研究課題名

「RPOC（Retained products of conception）に対する積極的治療を要した患者の臨床的特徴：14 症例の後方視的検討」

1. 研究の概要

当院産婦人科では、胎盤遺残（RPOC）の診断・治療を受けられた患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究は通常の診療で得られた情報を収集・解析するもので、患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。

2. 研究の目的・意義

目的： 正期産後と流産後の RPOC における治療期間および管理戦略に影響を与える因子を明らかにすること

意義： 本研究により、RPOC の治療方針決定に寄与する臨床的因子が明らかになることで、より適切な患者管理が可能となることが期待されます。特に、高齢妊娠や生殖補助医療（ART）妊娠歴のある患者さんにおける治療戦略の最適化に貢献できる可能性があります。

3. 対象となる方

2021 年 10 月から 2025 年 4 月までの間に、当院産婦人科で子宮鏡検査により胎盤遺残（RPOC）と診断され、治療を受けられた方

4. 研究実施期間

病院長による許可日 ～ 西暦 2026 年 6 月 21 日

5. 使用する診療情報

診療録から以下の情報を収集させていただきます：

患者背景：

- 年齢
- 産科歴（妊娠回数、分娩回数）
- 子宮内手術歴
- 不妊治療歴

妊娠・分娩に関する情報：

- 妊娠週数（分娩時または流産時）
- 分娩様式または流産処置方法
- 胎盤娩出方法
- 分娩時出血量

診断・治療に関する情報：

- 超音波検査所見（子宮内膜の厚さ、血流の有無）
- 分娩から診断までの期間
- 治療方法（待機的管理、経頸管的切除術など）

- 診断から治癒までの期間

※お名前、住所、生年月日などの個人を特定できる情報は使用いたしません

6. 個人情報の取り扱い

- 研究に使用する情報からは、お名前、住所など個人を特定できる情報は削除します
- 研究成果を学会や論文で発表する際も、個人が特定できる形での公表は行いません
- 収集した情報は、当院産婦人科において厳重に管理いたします

7. 研究成果の公表

本研究の成果は、学会発表および学術雑誌への論文投稿を予定しております。いずれの場合も個人が特定される形での公表は行いません。

8. 研究への参加を希望されない場合

この研究への参加を希望されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。お申し出いただいた場合、あなたの診療情報は研究に使用いたしません。

研究への参加を拒否されても、今後の診療において不利益を受けることは一切ありません。ただし、すでに研究結果が学会・論文等で公表されている場合には、結果を削除することができない場合があります。

9. 研究組織

研究責任者：紙谷 咲良（NTT 東日本札幌病院 産婦人科）

研究協力者：寺本 瑞絵（NTT 東日本札幌病院 産婦人科）

金 美善（NTT 東日本札幌病院 産婦人科）

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問やご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

研究責任者：紙谷 咲良

NTT 東日本札幌病院 産婦人科

〒060-0062 札幌市中央区南 1 条西 15 丁目

電話：011-623-7000（代表） 受付時間：平日 9:00～17:00

公開日：2026 年 1 月 20 日

NTT 東日本札幌病院 病院長
